

TORO®

後部リモート油圧キット
Sand Pro®/Infield Pro® 3040 および 5040 トラクションユニット用
モデル番号08781—シリアル番号 315000001 以上

取り付け要領

⚠ 警告

カリフォルニア州

第65号決議による警告

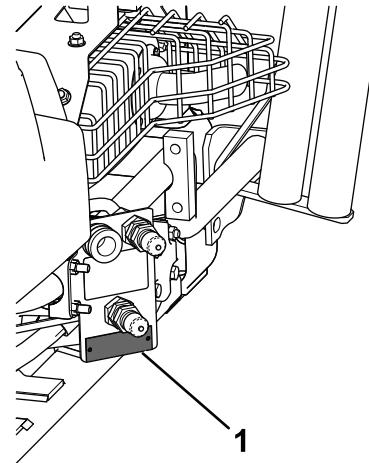
米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる
化学物質が含まれているとされております。

⚠ 警告

高圧で噴出する作動油は皮膚を貫通し、身体に
重大な損傷を引き起こす。

- 油圧を掛ける前に、油圧ラインやホースに傷
や変形がないか接続部が確実に締まっている
かを確認する。
- 油圧のピンホールリークやノズルからは作動油
が高圧で噴出しているので、絶対に手などを
近づけない。
- リークの点検には新聞紙やボール紙を使う。
- 油圧関係の整備を行う時は、内部の圧力を確
実に解放する。
- 万一、油圧オイルが体内に入ったら、直ちに
専門医の治療を受ける。

整備について、また純正部品についてなど、分から
ないことはお気軽に弊社代理店またはカスタマーサー
ビスにおたずねください。お問い合わせの際には、必
ず製品のモデル番号とシリアル番号をお知らせください。**図 1**にモデル番号とシリアル番号を刻印した銘
板の取り付け位置を示します。いまのうちに番号をメ
モしておきましょう。



g220043

図 1

1. 銘板取り付け位置

モデル番号_____

シリアル番号_____

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

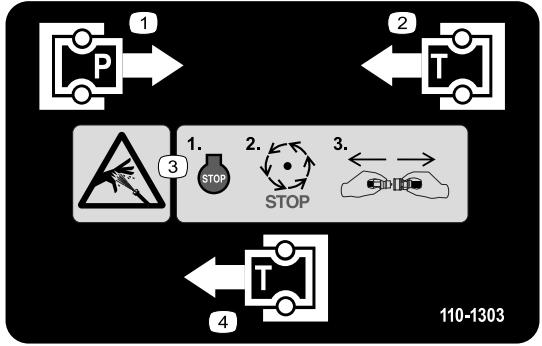


安全について

安全ラベルと指示ラベル



以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



110-1303

1. 加圧側
2. タンク
3. 高圧流体噴出の危険 - エンジンを停止し、動作を停止し、クイックコネクトポートの接続を取り外してください。
4. タンク

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	–	マシンの準備を行います。
2	必要なパーツはありません。	–	エアクリーナを取り外す。
3	必要なパーツはありません。	–	油圧オイルタンクとシュラウドを外す。
4	小さい 90 度 T 字フィッティングバーブ付き 大きい 90 度エルボ両端ともねじ ストレーナ	1 1 1	油圧オイルタンクにフィッティングを取り付ける。
5	リテーナブラケット マフラクランプ ホースリテーナブラケット カップラブラケット	1 2 1 1	後フレームにカップラブラケットを取り付ける。
6	バルブ バルブプレート ボルト $\frac{1}{4}$ x 1 $\frac{3}{4}$ インチ ナット $\frac{1}{4}$ インチ 90度エルボ小 字フィッティング タップねじ9/32 x $\frac{3}{4}$ インチ) T 字アダプタ リレー キャップ	1 1 2 2 1 1 1 1 1 1	マニホールドとブラケットを取り付ける。
7	油圧オイルキャップ 油圧ライン1番 油圧ライン2番 油圧ラインホース5番	1 1 1 1	油圧ラインを取り付ける。
8	油圧ポンプ 45度フィッティングオス側の端部 ハブアセンブリ 角キー $\frac{1}{4}$ x 1 インチ 固定ねじ5/16 x $\frac{3}{4}$ インチ ポンプブラケット ボルトねじゆるみ止め接着剤が塗布されたもの、5/16 x $\frac{3}{4}$ インチ ワッシャ $\frac{3}{8}$ インチ 大きい 90 度エルボホースのバーブ側 端部	1 1 1 1 4 1 2 2 1	油圧ポンプを取り付ける。
9	油圧ライン3番 油圧ライン4番	1 1	油圧ラインを取り付ける。

手順	内容	数量	用途
10	大きい油圧ホース 油圧ホースフィッティング付き 大きいホースクランプ 小さいホース・クランプ 細いモールドタイプの油圧ホース R クランプ ボルト5/16 x $\frac{1}{8}$ インチ フランジナット (5/16 インチ)	1 1 2 2 1 1 1 1	油圧ホースを取り付けます。
11	必要なパーツはありません。	—	全部の接続部を締め付ける。
12	ハーネス スイッチ ヒューズ	1 1 1	スイッチとハーネスを取り付ける。
13	ディップスティック 油圧作動液	1 25.5 リットル	油圧オイルを入れオイル漏れがないか点検する。

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. アタッチメントを下げる。
3. 駐車ブレーキを掛ける。
4. エンジンを止め、キーを抜き取る。
5. 機体全体をていねいに洗浄する。取り付けブラケットが確実に嵌り、油圧システム内部にごみや異物が混入しないよう、汚れをすべて落とす。

2

エアクリーナを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

1. エアクリーナの周囲をきれいに清掃する。
2. ホースについているラジエター用のクランプをゆるめてクランプをホース部にすらす。
3. エアクリーナを固定している内側ボルトを外す。

4. エアクリーナのカバーとフィルタを取り外す図 2。

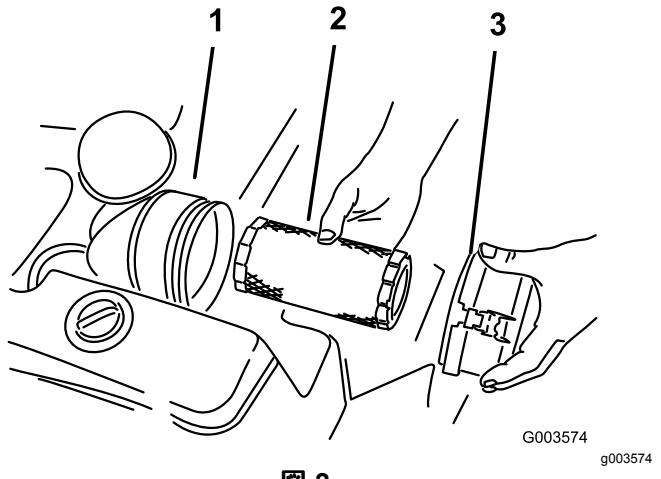


図 2

1. エアクリーナのキャニスタ
 2. エアフィルタ
 3. キャニスタのカバー
-
5. エアクリーナキャニスタからホースを外す。
 6. エアクリーナのストラップをゆるめて開き、キャニスタから引き抜くフィルタを抜き取った側から引き抜く図 3。

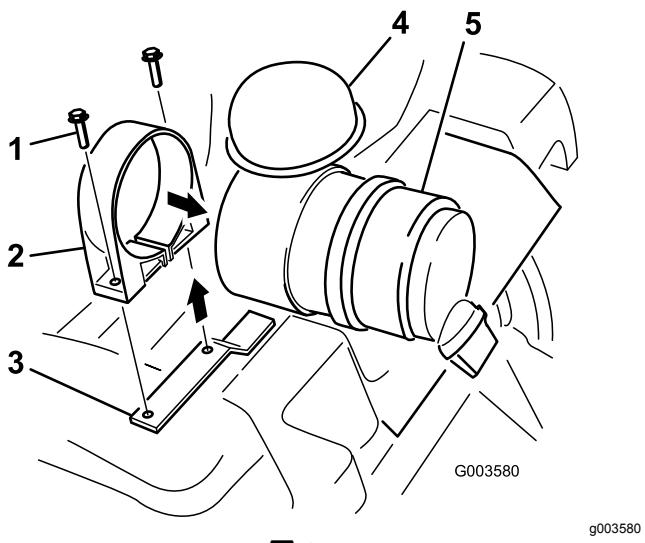


図 3

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. ボルト | 4. キャップ |
| 2. エアクリーナのストラップ | 5. エアクリーナのキャニスター |
| 3. 機体フレーム | |

7. 外したホースの口から異物が内部に入らないように、ホースの口にカバーを掛けるか口をウェスで覆うなどする。
8. ストラップを機体フレームに固定しているもう一方のボルトを外す。

3

油圧オイルタンクとシュラウドを外す

必要なパーツはありません。

手順

1. タンク内部のオイルを抜き取る。手順についてはオペレーターズマニュアルを参照のこと。
2. 機体後部を持ち上げ、サポートブロックを当てて後部を浮かした状態で支える。オペレーターズマニュアルの機体の持ち上げを参照のこと。

⚠ 警告

機械式や油圧式のジャッキが外れると重大な人身事故が発生する。

マシンをジャッキアップしたら、必ずジャッキスタンドで支えること。

3. 左後ろのタイヤを取り外す。

4. 左ホイール用のシュラウドをフレームに固定しているフランジヘッドねじ4本を外す図4。シュラウドを外して保管する。

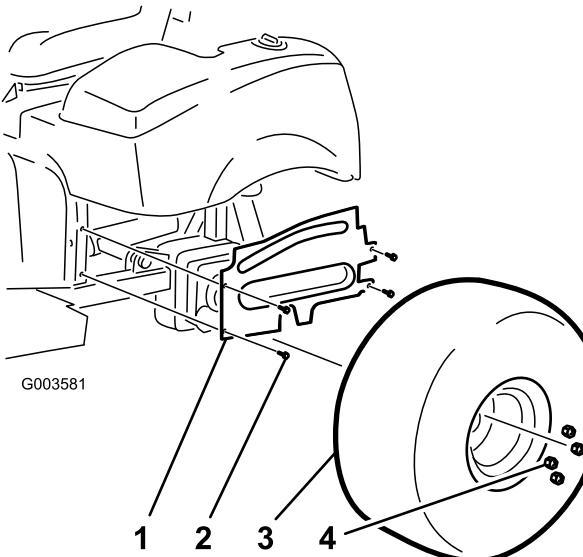


図 4

- | | |
|----------------|--------|
| 1. 左ホイール用シュラウド | 3. タイヤ |
| 2. フランジヘッドねじ | 4. ナット |

5. 左前スクリーンをフレームに固定しているフランジヘッドねじ2本を外す。スクリーンを外して保管する。

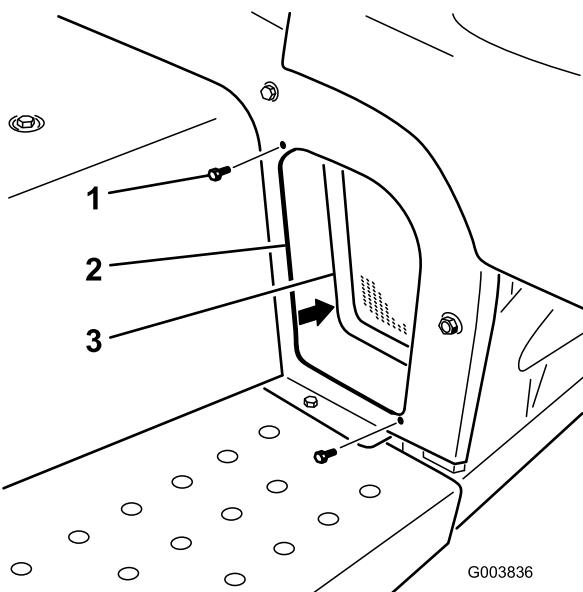


図 5

- | | |
|--------------|------------|
| 1. フランジヘッドねじ | 3. 左前スクリーン |
| 2. フレーム | |
6. リアヒッチのシールドをフレームに固定しているボルト3本を外す。

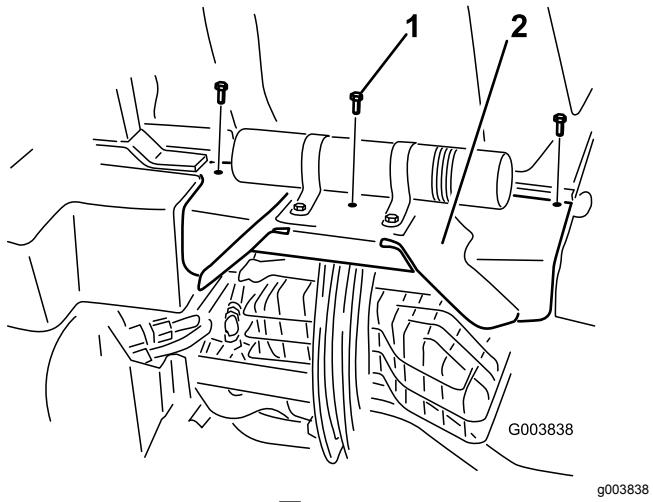


図 6

1. ボルト
2. リアピッチシールド

7. センターシュラウドをフレームに固定しているネジ2本を外す図7。シュラウドを外して保管する。

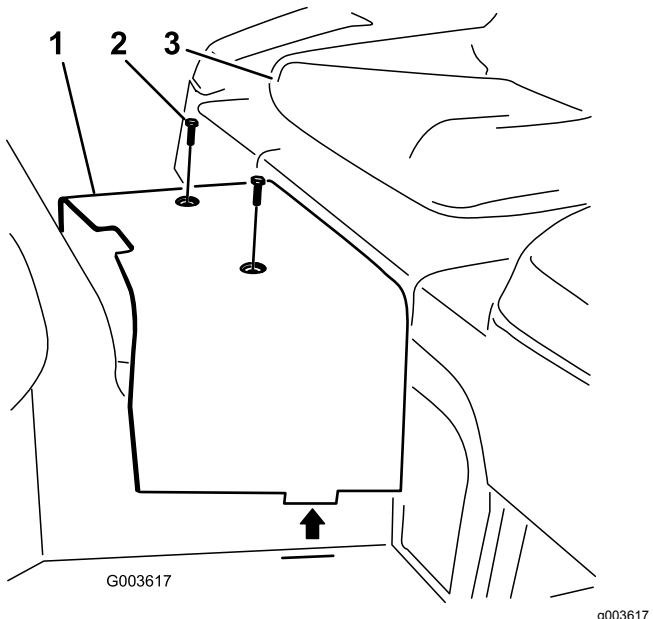


図 7

1. センターシュラウド
2. ねじ
3. 運転席

8. タンクに入していく油圧ラインを外す。
9. 機体フレームから油圧オイルタンクの上部ブラケットを外し、フレーム側部についているブラケット2つをゆるめる図8。タンクを外し、金具類と共に保管する。

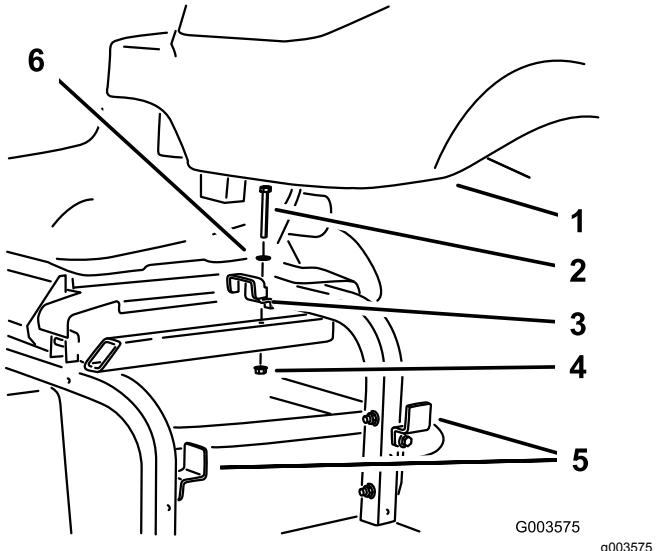


図 8

1. 油圧オイルタンク
2. ボルト
3. 上部ブラケット
4. ナット
5. 側部ブラケット
6. ワッシャ

4

油圧オイルタンクにフィッティングを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	小さい 90 度 T 字フィッティングバーブ付き
1	大きい 90 度エルボ両端ともねじ
1	ストレーナ

手順

注 全部のOリングをきちんと潤滑し、対応するフィッティングの正しい位置にセットしてから取り付けてください。

注 全部のフィッティングと油圧ラインをまず仮付けし、問題がないことを確認してから本締めしてください。各フィッティングを図に示されているように取り付ける。

1. タンク側部から油圧タンク用プラグ2個を取り外す。
2. 大きい方のプラグを外したところのタンク内側にストレーナを取り付ける。
3. ストレーナに大きい 90 度エルボを取り付ける。
4. 小さい方のプラグを取り外したところに、小さい 90 度 T 字フィッティングバーブ付きを取り付ける図9。

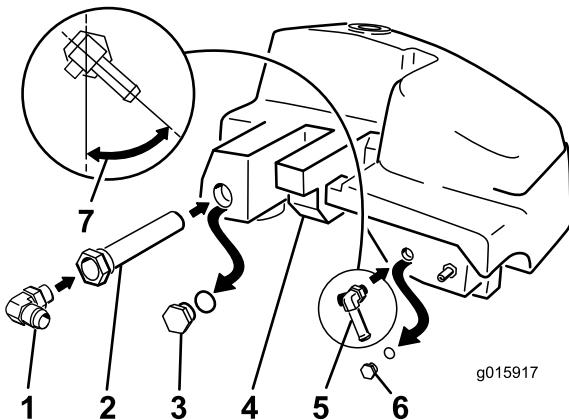


図 9

g015917

- 大きい 90 度エルボ図のような角度に取り付ける。
- ストレーナ
- 大きいプラグを抜く。
- 油圧オイルタンク
- 小さい 90 度T字フィットティング図のような角度に取り付ける。
- 小さいプラグを抜く。
- 45度

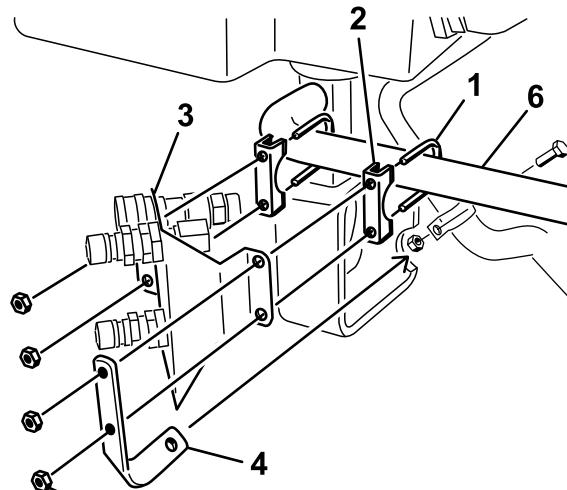


図 10

G003578

g003578

- マフラークランプ
- マフラー bracket
- カップラ bracket
- リテナ bracket
- ナット
- 後フレームの丸いチューブ

- 丸管部にカップラ bracket を仮止めする [図 11](#)を参照。

注 カップラ bracket は管の曲がり始め部分に取り付けてください。

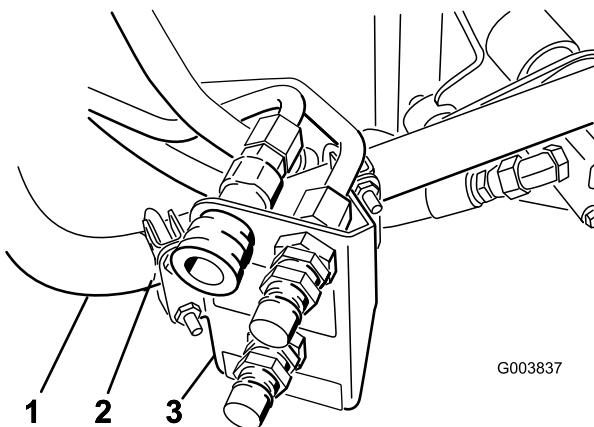


図 11

g003837

- 丸管のフレームチューブ
- カップラ bracket の一時取り付け位置
- カップラ bracket

5

後フレームにカップラ bracket を取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	リテナ bracket
2	マフラークランプ
1	ホースリテナ bracket
1	カップラ bracket

手順

注 全部の油圧ラインを仮配線し、問題がないことを確認してから本締めしてください。

- 後フレームの丸いチューブにクランプを通す。
- ホースリテナ bracket とカップラ bracket を、マフラークランプに取り付ける。

注 この時点ではまだナットを締め付けないこと。カップラ bracket がゆるんだ状態でないと油圧ラインを取り付けることができない [図 10](#)。

6

バルブを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	バルブ
1	バルブプレート
2	ボルト $\frac{1}{4} \times 1\frac{3}{4}$ インチ
2	ナット $\frac{1}{4}$ インチ
1	90度エルボ 小
1	字フィッティング
2	タップねじ $9/32 \times \frac{3}{4}$ インチ)
1	T字アダプタ
1	リレー
1	キャップ

手順

注 全部のOリングをきちんと潤滑し、対応するフィッティングの正しい位置にセットしてから取り付けてください。

注 全部のフィッティングと油圧ラインをまず仮付けし、問題がないことを確認してから本締めしてください。各フィッティングを図に示されているように取り付ける。

- 各フィッティングを図に示されているように取り付ける。バルブの側部に字フィッティングを取り付ける。字フィッティングの正しい位置については [図 12](#) を参照のこと。
- バルブの上部に小さい90度エルボを取り付ける [図 12](#)。
- 90度エルボにT字アダプタを取り付ける。字フィッティングの正しい位置については [図 12](#) を参照のこと。
- T字アダプタにキャップを取り付ける [図 12](#)。
- バルブブラケットにバルブを取り付けるのと同時にバルブにリレーを取り付ける。
- バルブブラケットにバルブを取り付けるボルト $\frac{1}{4} \times 1\frac{3}{4}$ インチ 2本とナット $\frac{1}{4}$ インチ 2個を使用する [図 12](#)。

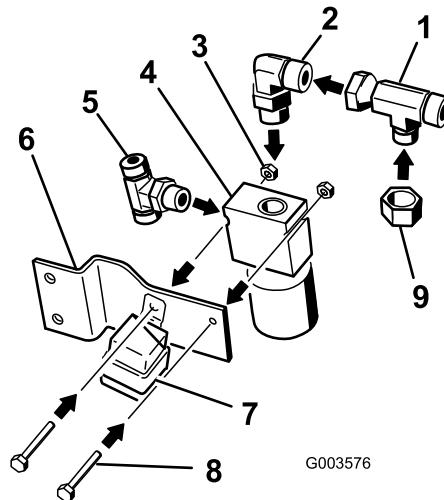


図 12

g003576

- | | |
|-------------|--|
| 1. T字アダプタ | 6. バルブブラケット |
| 2. 90度エルボ 小 | 7. リレー |
| 3. ナット | 8. ボルト $\frac{1}{4} \times 1\frac{3}{4}$ インチ |
| 4. バルブ | 9. キャップ |
| 5. 字フィッティング | |

7. タップねじ $9/32 \times \frac{3}{4}$ インチ2本を使用して、機体フレームにバルブブラケットを取り付ける。 [図 13](#)を参照のこと。

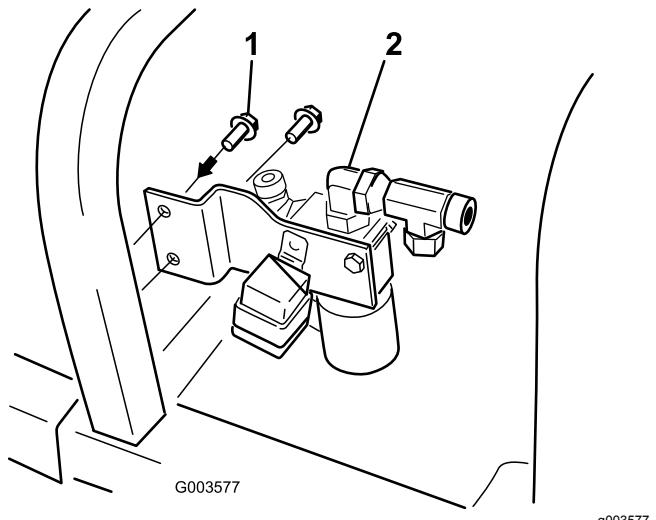


図 13

g003577

1. タップねじ $9/32 \times \frac{3}{4}$ インチ) 2. バルブアセンブリ

7

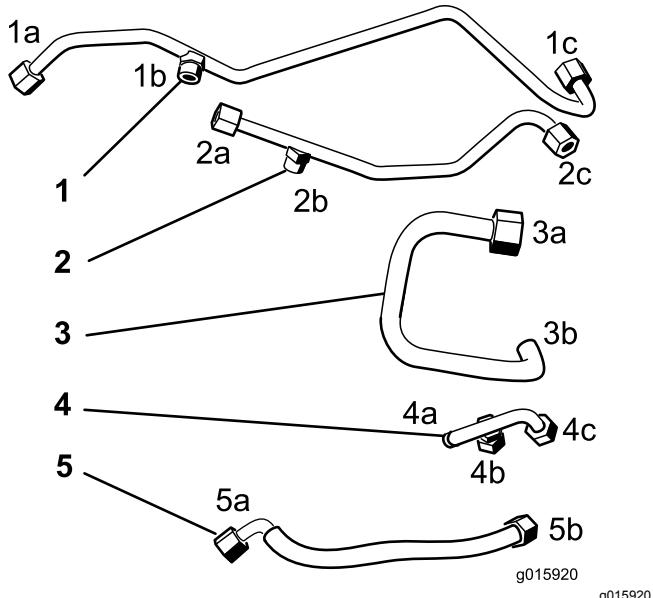
油圧ライン1、2、5を取り付ける。

この作業に必要なパーツ

1	油圧オイルキャップ
1	油圧ライン1番
1	油圧ライン2番
1	油圧ラインホース5番

手順

油圧ラインの正しい配置については [図 14](#) を参照する。



1. 油圧ライン1番
2. 油圧ライン2番
3. 油圧ライン3番
4. 油圧ライン4番
5. 油圧ラインホース5番

注 全部の油圧ラインを仮配線し、問題がないことを確認してから本締めしてください。

1. 油圧ライン1番のポート 1b に油圧オイルキャップを取り付ける。
2. [図 15](#) に示すように、油圧ライン1番を機体に位置決めする。
3. バルブの側部に組みつけられたフィットティングに油圧ライン1番を取り付ける [図 15](#)。
4. 油圧ライン1番を、上側のオスのカップラに取り付ける [図 15](#)。

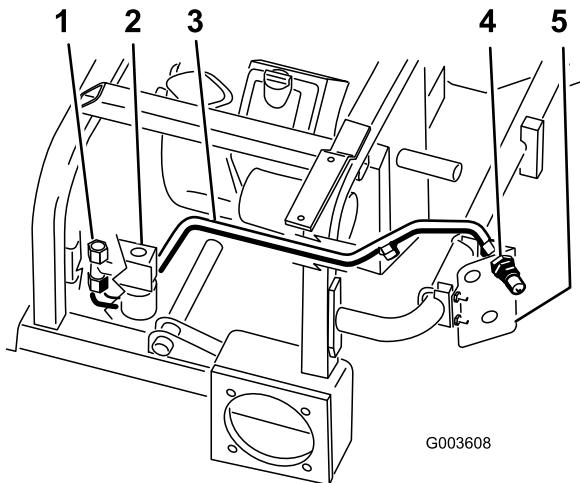


図 15

1. バルブの側部に字フィットティングを取り付ける。
2. バルブ
3. 油圧ライン1番
4. 上側のオスのカップラ
5. カップラブラケット
5. [図 16](#) に示すように、油圧ライン2番を機体に位置決めする。
6. 90度エルボに組みつけられた T 字フィットティングとバルブ上部とに、油圧ライン2番を接続する [図 16](#)。
7. 油圧ライン2番を、上側のメスのカップラに取り付ける [図 16](#)。

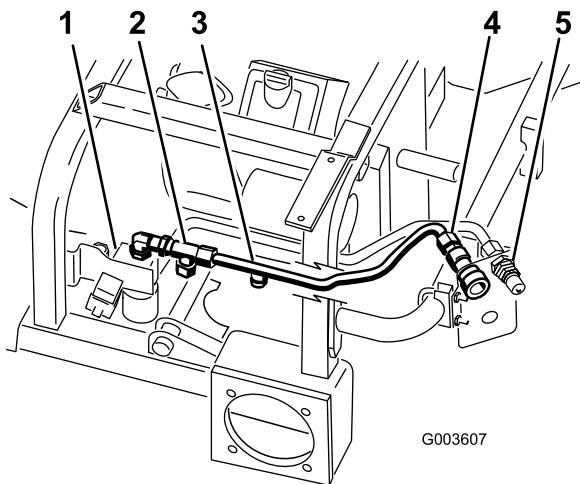


図 16

1. バルブ
2. 90度エルボに組みつけられた T 字フィットティング
3. 油圧ライン2番
4. 上側のメスのカップラ
5. カップラブラケット
8. 油圧ラインホース5番を、下側のオスのカップラに仮止めする [図 17](#)。

注 このホースのもう一方の端の接続は、ステップ10で行う。

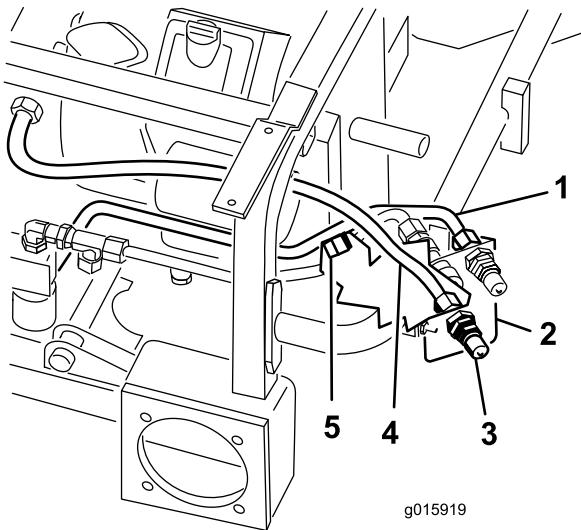


図 17

- 1. 油圧ライン1番
- 2. カップラブラケット
- 3. 下側のオスのカップラ
- 4. 油圧ラインホース5番
- 5. 油圧オイルキャップ

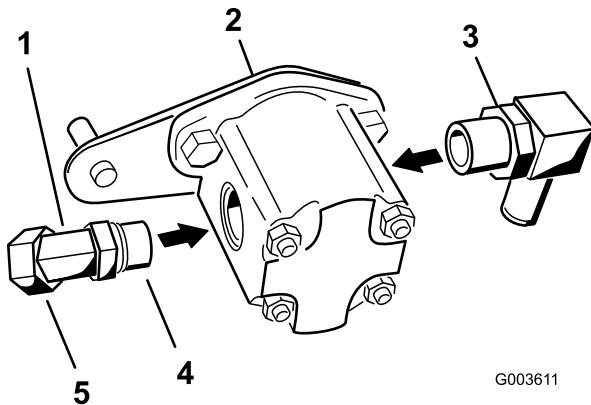


図 18

- 1. 45度エルボ
- 2. 油圧ポンプ
- 3. 大きい90度エルボホースのバーブ側端部
- 4. オス側端部
- 5. メス側端部

- 3. エンジンの PTO についているカバーを外す。
- 4. エンジンにポンプブラケットを取り付けるボルト2本 $5/16 \times \frac{3}{4}$ インチとワッシャ2枚 $\frac{3}{8}$ インチを使用する。ポンプブラケットの正しい取り付け位置については 図 19 を参照のこと。

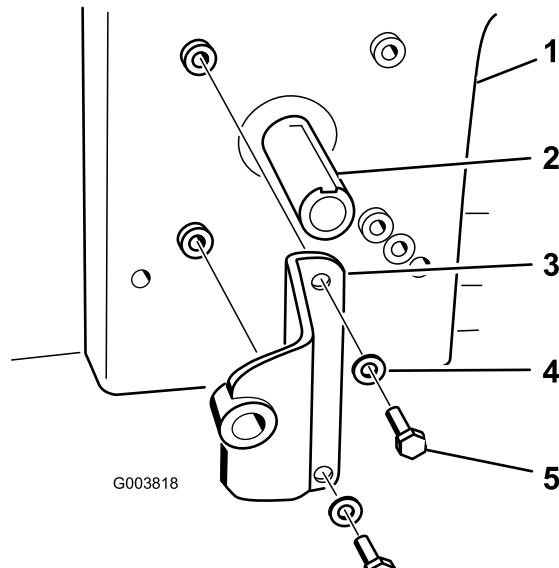


図 19

- 1. エンジン
- 2. エンジンの PTO シャフト
- 3. ポンプブラケット
- 4. ワッシャ $\frac{3}{8}$ インチ
- 5. ボルト $5/16 \times \frac{3}{4}$ インチ

- 5. エンジンの PTO のシャフトと油圧モータのシャフトに焼付防止剤を塗る。
- 6. エンジンの PTO シャフトのスロットに角キー $1/4 \times 1$ インチを取り付ける図 20。
- 7. ハブ・アセンブリを角キーに合わせ、エンジンの PTO シャフトに取り付ける図 20。

8

油圧ポンプを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	油圧ポンプ
1	45度フィッティングオス側の端部
1	ハブアセンブリ
1	角キー $1/4 \times 1$ インチ
4	固定ねじ $5/16 \times \frac{3}{4}$ インチ
1	ポンプブラケット
2	ボルトねじゆるみ止め接着剤が塗布されたもの、 $5/16 \times \frac{3}{8}$ インチ
2	ワッシャ $\frac{3}{8}$ インチ
1	大きい90度エルボホースのバーブ側端部

手順

1. 大きい90度の角エルボを油圧ポンプの側部に取り付ける。
2. 45度の角エルボを油圧ポンプの側部に取り付ける図 18。

注 ハブ・アセンブリをシャフトの一番奥までしっかりと入れてください。

8. 2本の固定ねじ $5/16 \times \frac{3}{4}$ インチにねじゆるみ止め接着剤取り外し可能タイプを塗り、ハブアセンブリを PTO シャフトに固定する図 20。

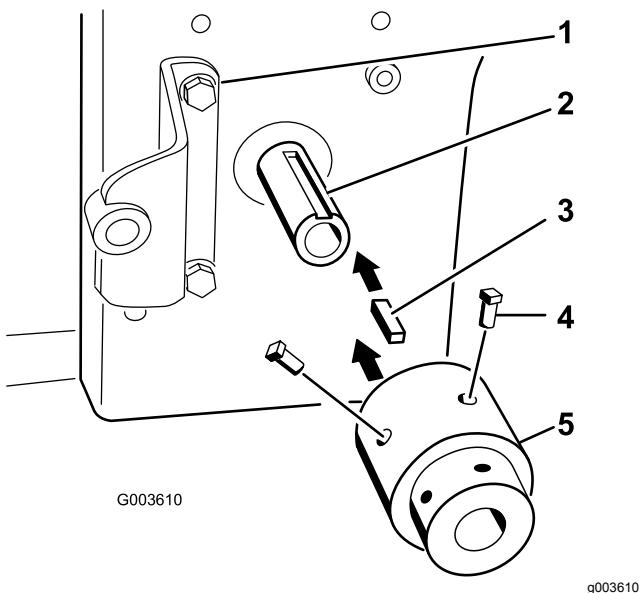


図 20

1. ポンプブラケット 4. 固定ねじ $5/16 \times \frac{3}{4}$ インチ
2. エンジンの PTO シャフト 5. ハブアセンブリ
3. 角キー $\frac{1}{4} \times 1$ インチ

9. 油圧ポンプのシャフトをハブ・アセンブリに取り付ける時にポンププレート用スタッドをポンプブラケットに取り付ける。

注 油圧ポンプのシャフトがエンジンの PTO シャフトに接触する図 21。

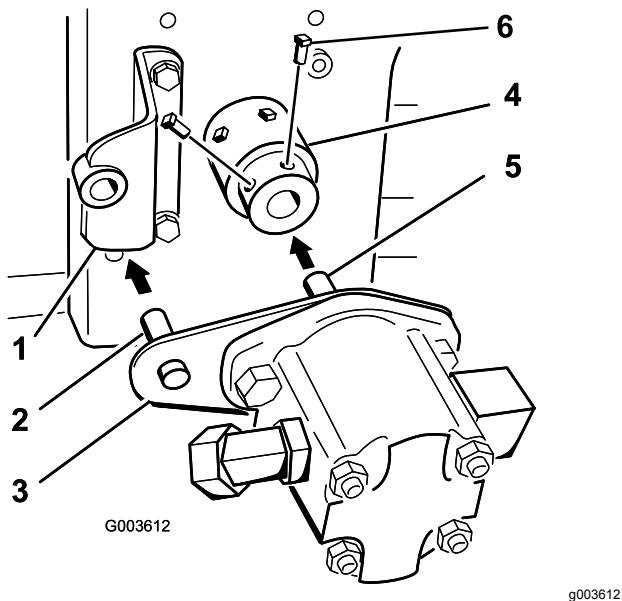


図 21

1. ポンプブラケット 4. ハブアセンブリ
2. ポンププレートのスタッド 5. 油圧ポンプへのシャフト
3. ポンププレート 6. 固定ねじ $5/16 \times \frac{3}{4}$ インチ

10. ハブアセンブリがシャフトの一番奥に完全に入っている必要がある。

注 ポンププレートとハブアセンブリとの間に隙間があることを確認する。隙間が全然ない場合は、ハブアセンブリが正しく取り付けられていないので取り付けを修正する図 22。

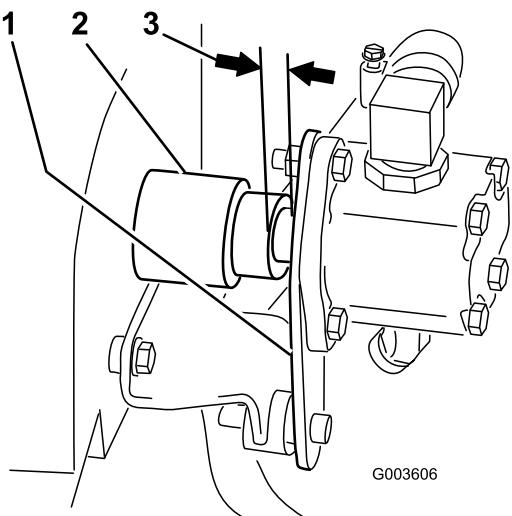


図 22

1. ポンププレート 3. ハブアセンブリとポンププレートとの間の隙間が $1.0\text{--}3.1\text{mm}$
2. ハブアセンブリ

11. 2本の固定ねじ $5/16 \times \frac{3}{4}$ インチにねじゆるみ止め接着剤取り外し可能タイプを塗り、ハブアセンブリを油圧ポンプのシャフトに固定する図 21。

9

油圧ライン3、4を取り付ける。

この作業に必要なパーツ

1	油圧ライン3番
1	油圧ライン4番

手順

注 全部の油圧ラインを仮配線し、問題がないことを確認してから本締めしてください。

油圧ラインの正しい配置については [図 23](#) を参照する。

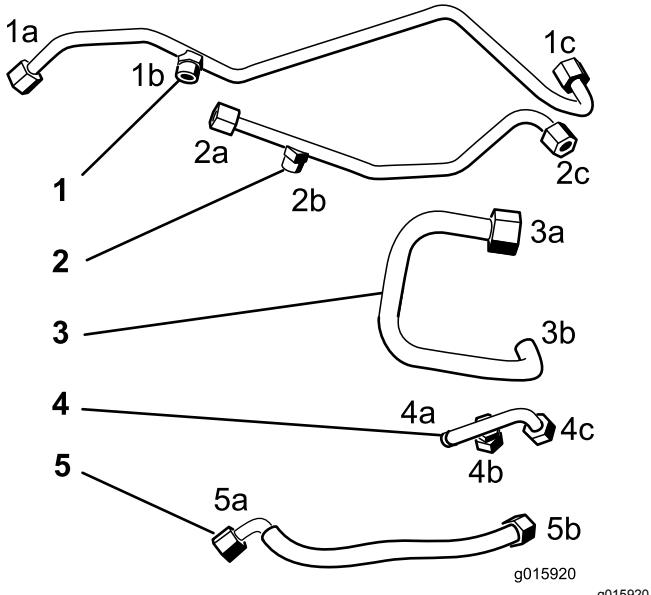


図 23

- 1. 油圧ライン1番
- 2. 油圧ライン2番
- 3. 油圧ライン3番
- 4. 油圧ライン4番
- 5. 油圧ライン5番

1. 既存のホースを油圧タンクに元通りに取り付ける。
2. 油圧オイルタンクをフレームに取り付け、これを先ほど取り外したブラケットとゆるめてあったブラケットで固定する [図 24](#)。

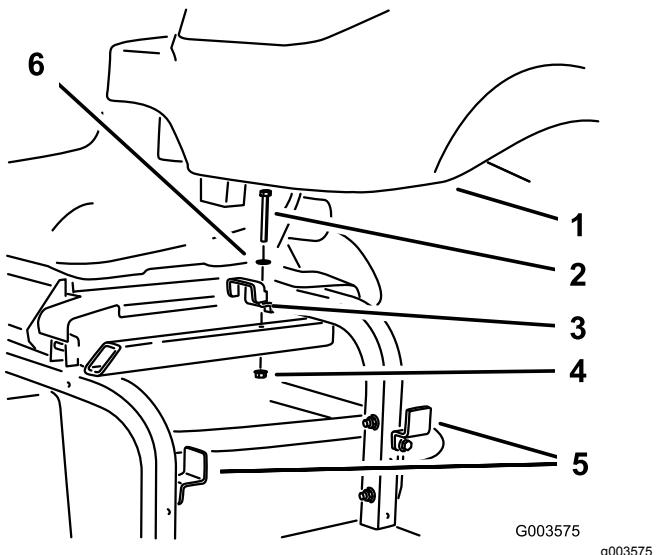


図 24

- 1. 油圧オイルタンク
 - 2. ボルト
 - 3. 上部ブラケット
 - 4. ナット
 - 5. 側部ブラケット
 - 6. ワッシャ
3. バルブの側部組みつけられたフィッティングに油圧ライン4番を取り付ける [図 25](#)。

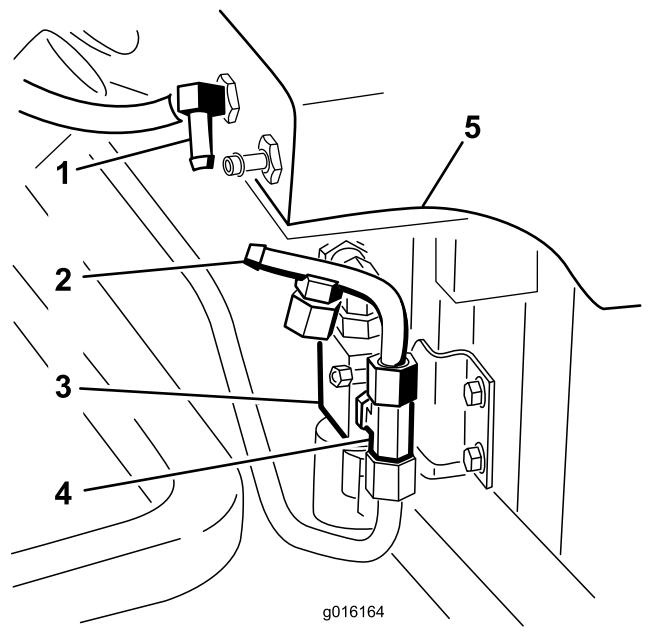


図 25

- 1. 油圧オイルタンクの小さい
90 度 T 字フィッティング
バーク付き
- 2. 油圧ライン4番
- 3. バルブ
- 4. 字フィッティング
- 5. 油圧オイルタンク

4. [図 26](#) に示すように、油圧ライン3番を機体に位置決めする。

5. ストレーナと油圧オイルタンクに取り付けた大きい90度エルボに、油圧ライン3番を取り付ける図26と図31。

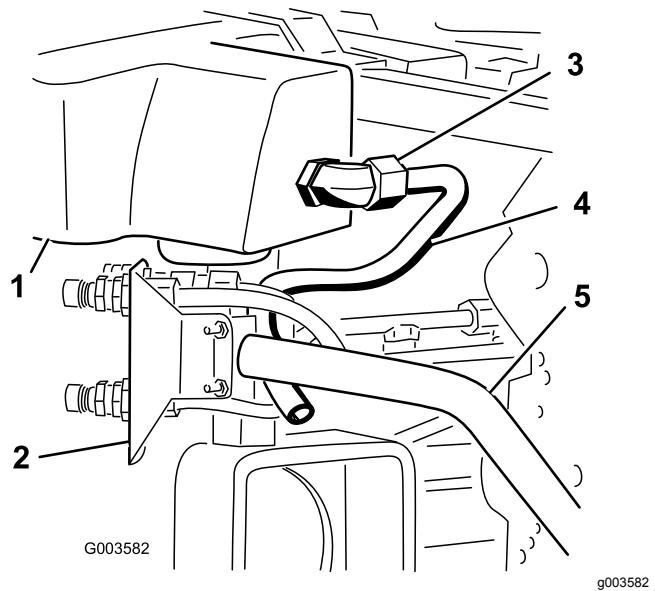


図 26

- 1. 油圧オイルタンク
- 2. カップラブラケット
- 3. タンクに取り付けた大きい90度エルボ
- 4. 油圧ライン3番
- 5. 機体フレーム

2. この太い油圧ホースを、油圧オイルポンプの側部に取り付けた90度エルボに取り付ける図27と図31。
3. ホースとエルボにつけたホースクランプを締め付ける図27。
4. 太い油圧ホースを油圧ライン3番に取り付ける図27。
5. ホースと油圧ライン3番のにつけたホースクランプを締め付ける図27。

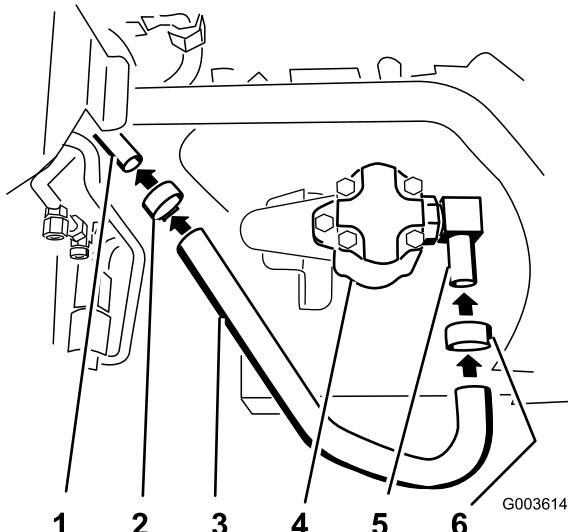


図 27

- 1. 油圧ライン3番
- 2. ホースクランプ
- 3. 大きい油圧ホース
- 4. 油圧ポンプ
- 5. 90度エルボ
- 6. ホースクランプ

6. 図28に示すように太い油圧ホースにRクランプを取り付ける。

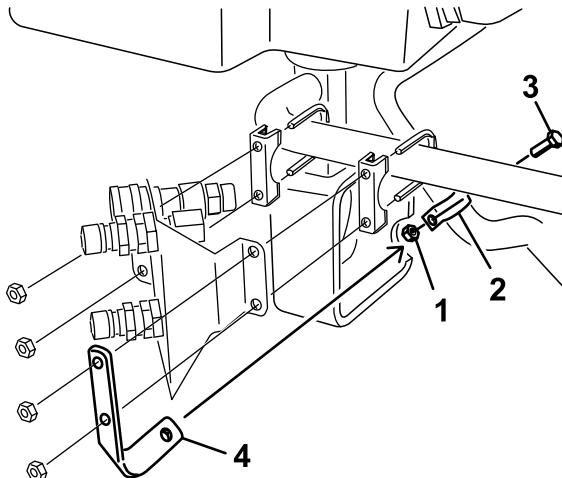


図 28

- 1. ナット $\frac{3}{8}$ インチ
- 2. Rクランプ
- 3. ボルト $\frac{3}{8} \times \frac{3}{4}$ インチ
- 4. リテーナブラケット

10

油圧ホースを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	大きい油圧ホース
1	油圧ホースフィッティング付き
2	大きいホースクランプ
2	小さいホース・クランプ
1	細いモールドタイプの油圧ホース
1	Rクランプ
1	ボルト $5/16 \times \frac{3}{8}$ インチ
1	フランジナット(5/16インチ)

手順

注 どのホースも摩れたり当たったりしていないことを確認してください。

1. 大きいホースクランプ2個を太い油圧ホースに取り付ける。

7. リテーナブラケットにRクランプを取り付けるボルト1本5/16 x 7/8インチとナット5/16インチを使用する図28を参照。
8. 図29に示すように、フィッティング付きの油圧ホースを油圧ライン2番のフィッティングに取り付ける。

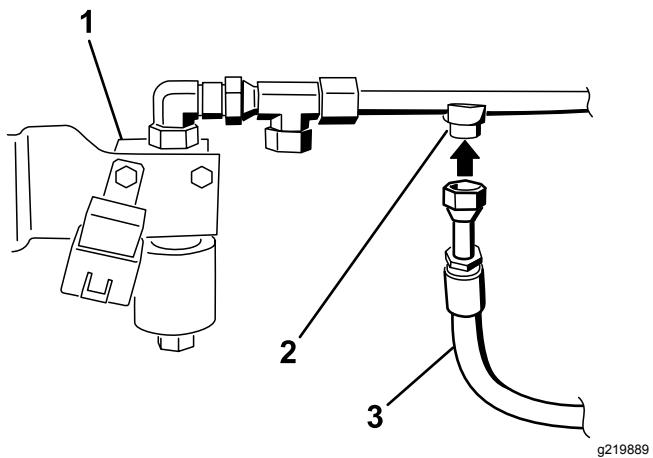


図 29

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. バルブ | 3. 油圧ホースフィッティング付き |
| 2. 油圧ライン2番のフィッティング | |

9. フィッティング付きの油圧ホースを、油圧ポンプに取り付けた45度エルボに取り付ける図30と図31。

注 油圧シリンダの下側になる。

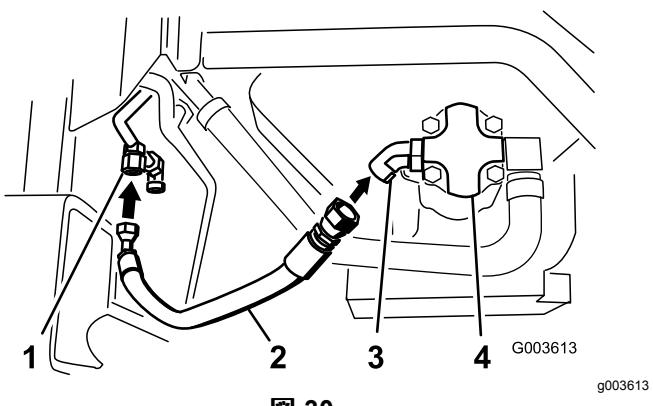


図 30

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1. 油圧ライン2番のフィッティング | 3. 45度エルボ |
| 2. 油圧ホースフィッティング付き | 4. 油圧ポンプ |
-
10. 油圧ホースと油圧ラインと油圧ポンプとの位置関係については図31を参照のこと。

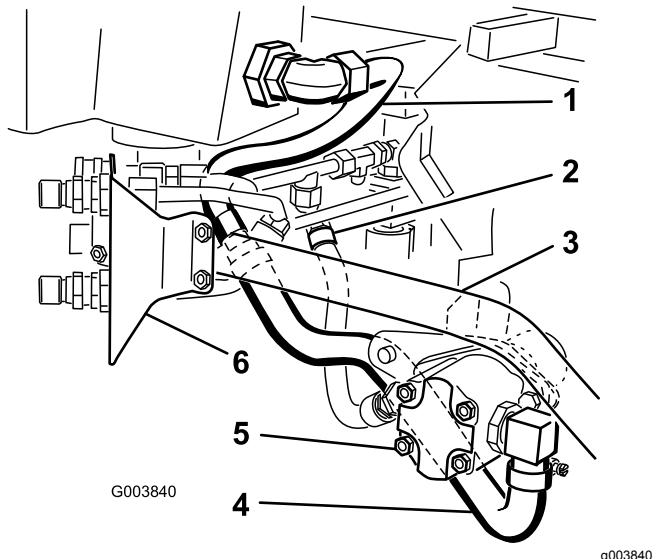


図 31

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 油圧ライン3番 | 4. 大きい油圧ホース |
| 2. 油圧ホースフィッティング付き | 5. 油圧ポンプ |
| 3. 機体フレームのチューブ | 6. カップラブラケット |

11. モールドタイプの細い油圧ホースに小さいホースクランプ2個を取り付ける図32。
12. モールドホースの長い方の端部を、油圧オイルタンクの90度T字フィッティングに取り付ける図32。
13. モールドホースの短い方の脚を、油圧ライン4番のバーブ端部に取り付ける図32。
14. モールドホースの両端につけてあるホースクランプを締め付ける。
15. 油圧ラインホース5番を、小さい90度T字フィッティングに仮止めする図32。

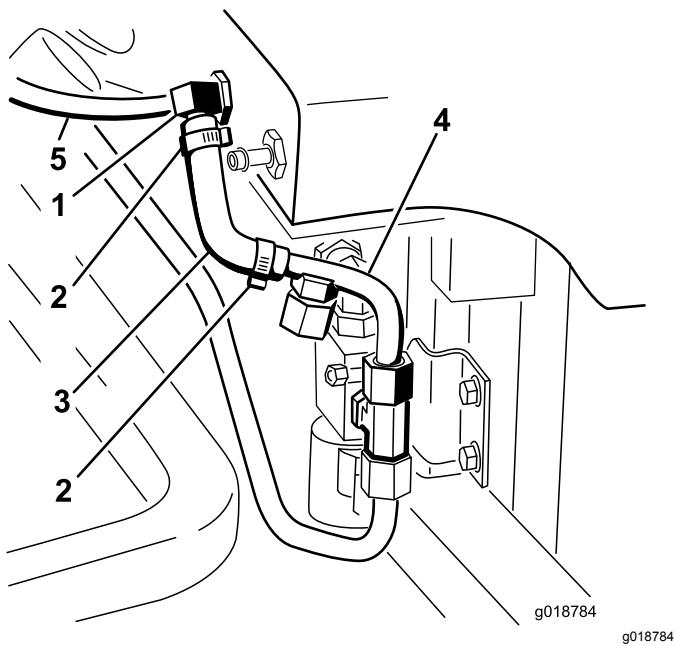


図 32

1. 油圧オイルタンクの小さい
90 度 T 字フィッティング
バーブ付き
2. 小さいホース・クランプ
3. 細いモールドタイプのホー
ス
4. 油圧ライン4番
5. 油圧ラインホース5番

g018784

11

全部の接続部を締め付ける

必要なパーツはありません。

手順

注 取り付けたホースやラインが、鋭利な部分、高温部、可動部などに一切接触していないことを確認してください。

1. 全部の油圧ラインとホースの取り付けができたら、各接続部の締め付けを行う。

注 タンクのフィッティングの締め付けはレンチでバックアップする。

2. カップラブラケットを、左側タイヤにできるだけ近い位置に固定する。

12

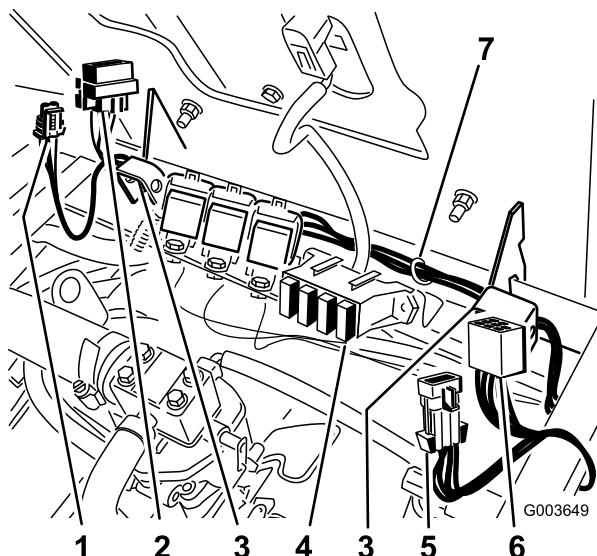
スイッチとハーネスを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ハーネス
1	スイッチ
1	ヒューズ

手順

1. 機体からコントロールパネルを外す。
2. パネルについているプラグを打ち抜いて、パネルにスイッチを取り付ける図 35。
3. ハーネスを、スイッチから運転席の蝶番部に沿って、先ほどバルブに取り付けたリレーまで配線する図 33。



g003649

図 33

1. 小さいコネクタ
 2. 四角いコネクタ
 3. 運転席の蝶番
 4. ヒューズブロック
 5. メインハーネスコネクタ
 6. スイッチ用コネクタ
 7. ケーブルタイ
4. コントロールパネルに取り付けたスイッチにハーネスを接続する図 35。
 5. コントロールパネルの下のメインハーネス部からジャンパワイヤを外す図 34。

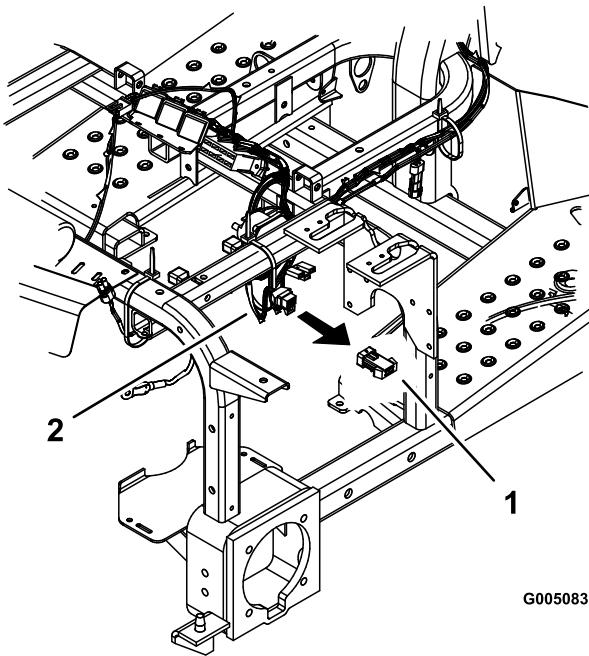


図 34

1. メインハーネスコネクタ 2. ジャンパワイヤ

6. メインハーネスコネクタをメインハーネスに接続する図 35。

7. コントロールパネルを機体に取り付ける。

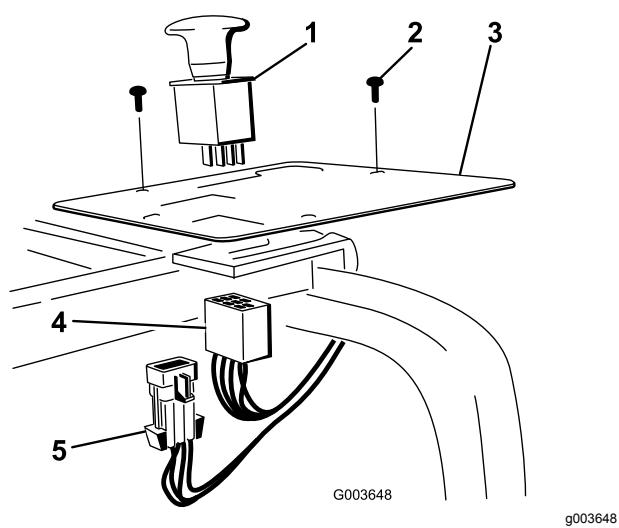


図 35

1. スイッチ
2. ねじ
3. コントロールパネル
4. スイッチ用コネクタ
5. メインハーネスコネクタ

ヒューズボックスの右側スロットにヒューズを取り付ける図 33。

8. バルブの隣に取り付けたリレーにコネクタを接続する図 36。
9. 小さいコネクタをバルブに接続する図 36。
10. ケーブルタイを使って、ワイヤハーネスをバルブに縛り付ける。

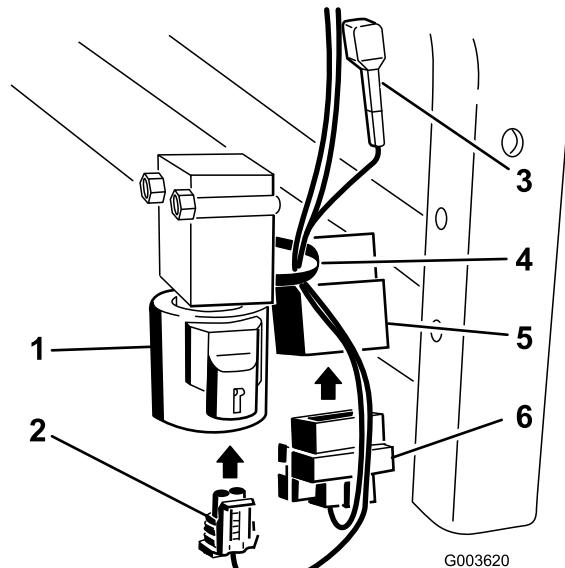


図 36

1. バルブ
2. 小さいコネクタ
3. ダイオード
4. ケーブルタイ
5. リレー
6. 四角いコネクタ

13

油圧オイルを入れオイル漏れがないか点検する

この作業に必要なパーツ

1	ディップスティック
25.5 リットル	油圧作動液

手順

油圧システムの容量は 25.5 リットルとなります。

使用に適したオイルの種類についてはオペレーターズマニュアルを参照のこと。

1. 油圧オイルタンクについている古いディップスティックを取り外して捨てる。
2. 補給管から、必要量の約80%のオイルをゆっくり入れる。
3. 新しいディップスティックを入れ、油圧オイルの量を点検する図 37。
4. Fullマークまで残りのオイルをゆっくり入れる。

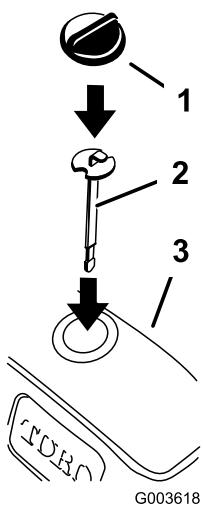


図 37

1. 油圧オイルタンクのキャップ
2. ディップスティック
3. 油圧オイルタンク

5. エンジンを始動し、5分間程度運転する。
6. ボール紙を使ってオイルもれがないか点検する。

▲ 警告

高圧で噴出する作動油は皮膚を貫通し、身体に重大な損傷を引き起こす。

万一、油圧オイルが体内に入った場合は、この種の労働災害に経験のある施設で数時間以内に外科手術を受ける必要がある。処置が遅れると傷口が壊疽を起こす危険がある。

- 油圧ノズルやのピンホール・リークからは作動油が高圧で噴出しているので、絶対に手などを近づけない。
- リークの点検には新聞紙やボール紙を使う。
- 油圧関係の整備を行う時は、内部の圧力を確実に解放する。
- 油圧を掛ける前に、油圧ラインやホースに傷や変形がないか接続部が確実に締まっているかを確認する。

7. フレームに左前スクリーンを取り付ける。
8. フレームに前シュラウドを取り付けるフランジヘッドねじ4本を使用する。
9. 左ホイール用のシュラウドをフレームに固定するフランジヘッドねじ4本を取り付ける図38。
10. 左後ろのタイヤを取り付ける図38。

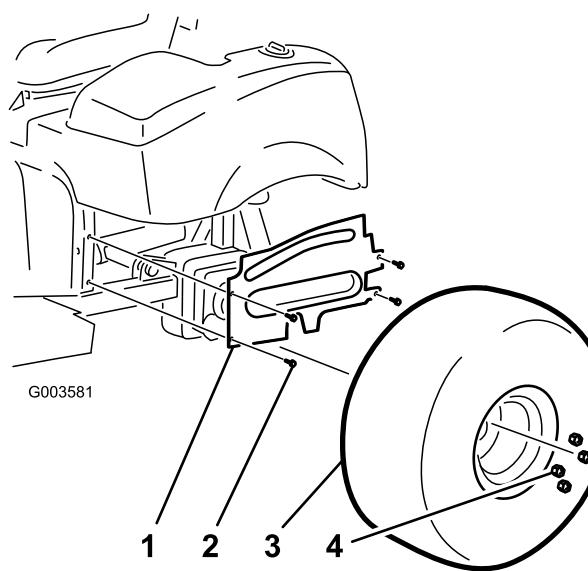


図 38

1. 左ホイール用シュラウド
2. フランジヘッドねじ
3. 左タイヤ
4. ナット

11. 機体を床面に降ろす。
12. リアヒッチシールドを取り付ける。
13. エアクリーナ・アセンブリを取り付ける。

組込宣言書

The Toro Company, 8111 Lyndale Ave. South, Bloomington, MN, USA は、以下に挙げるユニットが、以下に列挙する指令に適合していることをここに宣言しますただし、各ユニットに付属する説明書にしたがって、「適合宣言書」に記述されている所定のトロ社製品に取り付けることを条件とします。

モデル番号	シリアル番号	製品の説明	請求書の内容	概要	指示
08781	315000001 以上	後部リモート油圧キット	REAR REMOTE HYDRAULICS	スカリファイヤ	2006/42/EC

2006/42/EC 別紙 VII パートB の規定に従って関連技術文書が作成されています。

本製品は、半完成品状態の製品であり、国の規制当局の要求があった場合には、弊社より関連情報を送付いたします。ただし、送付方法は電子滴通信手段によるものとします。

この製品は、製品に付随する「規格適合証明書」に記載されている承認済みのトロ社製品に取り付けることによって、関連する諸規制に適合するものであり、そのような状態でなければ使用することができません。

確認済み

権限を有する代表者

Marcel Dutrieux
Manager European Product Integrity
Toro Europe NV
Nijverheidsstraat 5
2260 Oevel
Belgium

John Heckel
上級エンジニアリングマネージャ
8111 Lyndale Ave. South
Bloomington, MN 55420, USA
June 19, 2017

Tel. +32 16 386 659

欧洲におけるプライバシー保護に関するお知らせ

トロが収集する情報について

トロ・ワランティー・カンパニー・トロは、あなたのプライバシーを尊重します。この製品について保証要求が出された場合や、製品のリコールが行われた場合にあなたに連絡することができるよう、トロと直接、またはトロの代理店を通じて、あなたの個人情報の一部をトロに提供していただくようお願いいたします。

トロの製品保証システムは、米国内に設置されたサーバーに情報を保存するため、個人情報の保護についてあなたの国とまったく同じ内容の法律が適用されるとは限りません。

あなたがご自分の個人情報を提供なさることにより、あなたは、その情報がこの「お知らせ」に記載された内容に従って処理されることに同意したことになります。

トロによる情報の利用

トロでは、製品保証のための処理ならびに製品にリコールが発生した場合など、あなたに連絡をすることが必要になった場合のために、あなたの個人情報を利用します。また、トロが上記の業務を遂行するために必要となる活動のために、弊社の提携会社、代理店などのビジネスパートナーに情報を開示する場合があります。弊社があなたの個人情報を他社に販売することはありません。ただし、法の定めによって政府や規制当局からこれらの情報の開示を求められた場合には、かかる法規制に従い、また弊社ならびに他のユーザー様を保護する目的のために情報開示を行う権利を留保します。

あなたの個人情報の保管について

トロでは、情報収集の当初の目的を遂行するのに必要な期間にわたって、また法に照らして必要な期間法律によって保存期間が決められている場合などにわたって情報の保管を行います。

弊社はあなたの個人情報の流出を防ぎます

トロは、あなたの個人情報の保護のために妥当な措置を講ずることをお約束します。また、情報が常に最新の状態に維持されるよう必要な手段を講じます。

あなたの個人情報を訂正したい場合などのアクセス方法

ご自身の個人情報を確認・訂正されたい場合には、legal@toro.com へ電子メールをお送りください。

オーストラリアにおける消費者保護法について

オーストラリアのお客様には、梱包内部に資料を同梱しているほか、弊社代理店にても法律に関する資料をご用意しております。

保証条件および保証製品

Toro 社およびその関連会社であるToro ワンティー社は、両社の合意に基づき、Toro 社の製品「製品」と呼びますの材質上または製造上の欠陥に対して、2年間または1500運転時間のうちいずれか早く到達した時点までの品質保証を共同で実施いたします。この保証は、エアレータ以外のすべての機器に適用されますエアレータ製品については別途保証があります。この品質保証の対象となった場合には、弊社は無料で「製品」の修理を行います。この無償修理には、診断、作業工賃、部品代、運賃が含まれます。保証は「製品」が納品された時点から有効となります。

*アワーメータを装備している機器に対して適用します。

保証請求の手続き

保証修理が必要だと思われた場合には、「製品」を納入した弊社代理店ディストリビュータ又はディーラーに対して、お客様から連絡をして頂くことが必要です。連絡先がわからなくなったり、保証内容や条件について疑問がある場合には、本社に直接お問い合わせください。

Toro Commercial Products Service Department

Toro Warranty Company

8111 Lyndale Avenue South

Bloomington, MN 55420-1196

952-888-8801 または 800-952-2740

E-mail: commercial.warranty@toro.com

オーナーの責任

「製品」のオーナーは、オペレーターズマニュアルに記載された整備や調整を実行する責任があります。これらの保守を怠った場合には、保証が受けられないことがあります。

保証の対象とならない場合

保証期間内であっても、すべての故障や不具合が保証の対象となるわけではありません。以下に挙げるものは、この保証の対象とはなりません

- Toroの純正交換部品以外の部品を使用したことまたはToroの純正部品以外のアクセサリや製品を搭載して使用したことが原因で発生した故障や不具合。これらの製品については、別途製品保証が適用される場合があります。
- 推奨された整備や調整を行わなかったことが原因で生じた故障や不具合。オペレーターズマニュアルに記載されている弊社の推奨保守手順に従った適切な整備が行われていない場合。
- 運転上の過失、無謀運転など「製品」を著しく過酷な条件で使用したことが原因で生じた故障や不具合。
- 通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類。但しその部品に欠陥があった場合には保証の対象となります。通常の使用に伴って磨耗消耗する部品類とは、ブレーキパッドおよびライニング、クラッチライニング、ブレード、リール、ローラおよびペーリングシールドタイプ、グリス注入タイプ共、ベッドナイフ、タイン、点火プラグ、キャスタホイール、ベアリング、タイヤ、フィルタ、ベルトなどを言い、この他、液剤散布用の部品としてダイヤフラム、ノズル、チェックバルブなどが含まれます。
- 外的な要因によって生じた損害。外的な要因とは、天候、格納条件、汚染、弊社が認めていない燃料、冷却液や潤滑剤、添加剤、肥料、水、薬剤の使用などが含まれます。
- エンジンのための適正な燃料ガソリン、軽油、バイオディーゼルなどを使用しなかったり、品質基準から外れた燃料を使用したために発生した不具合。

米国とカナダ以外のお客様へ

米国またはカナダから輸出された製品の保証についてのお問い合わせは、お買いあげのToro社販売代理店ディストリビュータまたはディーラへおたずねください。代理店の保証内容にご満足いただけない場合は輸入元にご相談ください。

- 通常の使用に伴う運転音や振動、汚れや傷、劣化。
- 通常の使用に伴う「汚れや傷」とは、運転席のシート、機体の塗装、ステッカー類、窓などに発生する汚れや傷を含みます。

部品

定期整備に必要な部品類「部品」は、その部品の交換時期が到来するまで保証されます。この保証によって取り付けられた部品は、この製品保証により保証期間終了まで保証され、取り外された部品は弊社の所有となります。部品やアセンブリを交換するか修理するかの判断は弊社が行います。弊社が保証修理のために再製造した部品を使用する場合があります。

ディープサイクルバッテリーおよびリチウムイオンバッテリーの保証

ディープサイクルバッテリーやリチウムイオンバッテリーは、その寿命中に放出来ることのできるエネルギーの総量 kWh が決まっています。一方、バッテリーそのものの寿命は、使用方法、充電方法、保守方法により大きく変わります。バッテリーを使用するにつれて、完全充電してから次に完全充電が必要になるまでの使用可能時間は徐々に短くなってゆきます。このような通常の損耗を原因とするバッテリーの交換は、オーナーの責任範囲です。本製品の保証期間中に、上記のような通常損耗によってオーナーの負担によるバッテリー交換の必要性がでてくることは十分に考えられます。注リチウムイオンバッテリーについてリチウムイオンバッテリーには、その部品の性質上、使用開始後 3-5 年についてのみ保証が適用される部品があり、その保証は期間割保証補償額遞減方式となります。さらに詳しい情報については、オペレーターズマニュアルをご覧ください。

保守整備に掛かる費用はオーナーが負担するものとします

エンジンのチューンナップ、潤滑、洗浄、磨き上げ、フィルタや冷却液の交換、推奨定期整備の実施などは「製品」の維持に必要な作業であり、これらにかかる費用はオーナーが負担します。

その他

上記によって弊社代理店が行う無償修理が本保証のすべてとなります。

両社は、本製品の使用に伴って発生しうる間接的偶発的結果的損害、例えば代替機材に要した費用、故障中の修理関連費用や装置不使用に伴う損失などについて何らの責も負うものではありません。両社の保証責任は上記の交換または修理に限らせていただきます。その他については、排気ガス関係の保証を除き、何らの明示的な保証もお約束するものではありません。商品性や用途適性についての默示的内容についての保証も、本保証の有効期間中のみに限って適用されます。

米国では、間接的偶発的損害に対する免責を認めていない州があります。また默示的な保証内容に対する有効期限の設定を認めていない州があります。従って、上記の内容が当てはまらない場合があります。この保証により、お客様は一定の法的権利を付与されますが、国または地域によっては、お客様に上記以外の法的権利が存在する場合もあります。

エンジン関係の保証について

米国においては環境保護局EPAやカリフォルニア州法CARBで定められたエンジンの排ガス規制および排ガス規制保証があり、これらは本保証とは別個に適用されます。くわしくはエンジンメーカーのマニュアルをご参照ください。上に規定した期限は、排ガス浄化システムの保証には適用されません。くわしくは、製品に同梱またはエンジンメーカーからの書類に同梱されている、エンジンの排ガス浄化システムの保証についての説明をご覧下さい。